

**二本松商工会議所**  
**経営発達支援計画 事業評価検討会 評価表**

**評価基準**

- A：実施され効果が見られたもの、もしくは期待できるもの。
- B：実施されたが、目に見えた効果が見られないもの。
- C：実施されたが、大幅に目標を下回っているもの。
- D：実施されなかった。

当所経営発達支援計画の事業評価に際し、別紙『令和元年度二本松商工会議所経営発達支援計画事業報告書』をご参照の上、A・B・C・Dいずれかに○を付けて下さい。  
 その際、別段に設けた記入欄にご意見等ございましたら、ご記入願います。

**I. 経営発達支援事業の内容**

**【1.地域の経済動向調査に関すること】**

- 独自の経済動向調査の実施と情報の提供
- 管内経済情勢の把握

A	B	C	D
	○		

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

会員実態調査による定点観測は、地域商工業者の動向の変化を追うことができ、大変重要ではあるが、今年度は、台風 19 号やコロナウイルスの感染拡大などの緊急対応を優先させる必要があったため実施できなかったことはやむを得なかったと思う。また、緊急時こそ迅速な状況把握が重要であり、コロナの影響調査を速やかに実施したことの方が評価に値する。

**【2.経営状況の分析に関すること】**

- セミナー等の開催を通し支援先を抽出
- 詳細な経営分析

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

セミナー⇒個別相談⇒支援先の発掘⇒経営分析⇒課題の把握⇒支援実施という仕組みがしっかりと機能している。その結果、目標件数を上回る支援実績となっている。今後は、経営指導員の支援スキルのレベルアップと平準化を図ることで、更なる対応力の強化を期待したい。

### 【3.事業計画策定支援に関すること】

- 事業計画策定の有効性の啓蒙
- 事業計画策定支援の推進
- 事業承継事業所への事業計画策定支援の推進
- 創業者への創業計画策定支援の推進

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

事業計画策定事業所数が目標件数の2倍の18件という実績となっていることから、事業計画策定の有効性の啓蒙が機能している。また、事業計画を策定した18事業所のうち、7事業所が黒字化転換できている点も大きな成果である。事業承継については、課題が益々顕在化すると思われるため、潜在的な支援ニーズがある事業所への啓蒙強化を期待したい。

### 【4.事業計画策定後の実施支援に関すること】

- 事業計画策定事業所のフォローアップ
- 事業承継事業所へのフォローアップ
- 創業者へのフォローアップ

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

- ・事業計画策定事業所へのフォローアップについては、相談所担当職員6名全員での定期巡回を行い、職員相互の支援状況の共有を図っていることから、十分に機能していると言える。
- ・事業承継については、個別相談の参加人数は少なかったが、ニーズがある事業所に対しては事業承継計画の策定まで支援するなど、対応力は有している。
- ・創業者に対しても、地域の各種支援機関との連携体制を構築し、定期的なフォローアップの仕組みができている。

### 【5.需要動向調査に関すること】

- 専門家（バイヤーズガイド）による個別相談会（個社の商品調査）
- 「一店逸品フェア」での消費者向けヒアリング調査（個社の商品調査）
- 外部情報を活用した商品等ニーズ調査（業界の商品調査）

A	B	C	D
	○		

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

・個別相談会や一点逸品運動のアンケート調査は、販路開拓に向けた既存商品のブラッシュアップや新商品開発のヒントにつながるため、非常に有効である。個別相談会や、一店逸品運動への参加事業者が増やすことができれば、より効果的な事業に発展すると思われる。

### 【6.新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること】

- 「ザ・ビジネスモール」を活用した販路開拓支援（地域外への販路開拓）
- 「一店逸品運動」の更なる推進
- 専門家（バイヤーズガイド）によるセミナーと個別相談会の開催
- 「小規模事業者交流会」を通じた販路開拓支援

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

ザ・ビジネスモールに出店した3事業者が100%成約につながったことは目に見る成果であった。今年度新たな取り組みであり、来年度以降も出店支援件数、商談成約件数が伸びることを期待したい。

## II. 地域経済の活性化に資する取組

### 【1.二本松市中心市街地活性化協議会（中活協）の運営と各地区協議会との連携】

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

二本松市の中心市街地活性化に向けた各種関係団体との連携の中心機関として、二本松商工会議所の役割は大きく、今年度も、その機能を十分に果たしたている。

### 【2.二本松市共通商品券事業】

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

・今年度は発行総額を増やしたことに伴い、昨年度より商品購入者数も 161 名増えていて、地元経済の消費喚起に貢献できている。  
・年度ごとに、発行総額、参加店舗数、購入者数の目標を設定していただくと、より事業評価を実施しやすくなる。

### 【3.城下町魅力発信事業】

- オールにほんまつスタンプラリー事業
- さくらウォーキング事業
- ファミリーサイクリング事業

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

オールにほんまつスタンプラリー事業は、参加店が増加傾向にあり、イベント参加者の地域での消費喚起につながっている。他の事業においても、同様に、イベント参加者に対して、消費喚起の仕掛けを行うことができれば、参加者の回遊性をより高めることができると思われる。

#### 【4.定住人口拡大事業 婚活イベント「Welcome 二本松 de 婚活」】

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気付きの点をご記入ください。

- ・毎年継続開催することで、イベントが定着している。今年度は昨年度より参加者は12名少なかったが、カップル成立は3組多かった。
- ・本イベントがきっかけで結婚したカップルから報告が上がってくる仕掛けや仕組みがあると、より事業の成果を実感することができ、PRにもつなげることができると思われる。

### Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

#### 【1.他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること】

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気付きの点をご記入ください。

各支援機関の連携し、支援ノウハウ等の情報交換を行う機会が設けられている。他支援機関から得た支援ノウハウを職員間で共有することで、職員全体のレベルアップと支援能力の平準化を図ることを期待したい。

#### 【2.経営指導員等の資質向上等に関すること】

A	B	C	D
	○		

今後、特に改善が必要な点又はお気付きの点をご記入ください。

Off-JT と OJT の両面による経営指導員の資質向上策が行われている。Off-JT については、年度当初に年間計画を作成し、計画的に実施することが望ましい。また、Off-JT に参加した職員の研修内容や支援事例の情報共有についても、終了後の報告会（課内打ち合わせ）の日程を事前に設定すると、実施しやすくなると思われる。

### 【3.事業の評価及び見直しをするための取組みに関すること】

A	B	C	D
○			

今後、特に改善が必要な点又はお気づきの点をご記入ください。

報告書を作成することで客観的な評価及び検証が実施できている。外部の評価委員による評価及び検証だけでなく、所内でも、職員間での振り返りと改善点の検討を行うことで、より効果的な改善につながると思われる。

以上、令和元年度二本松商工会議所の経営発達支援計画に事業評価について、ご報告致します。

令和2年3月19日

相馬 由寛



二本松商工会議所 経営発達支援計画